

新グループブランド発表会

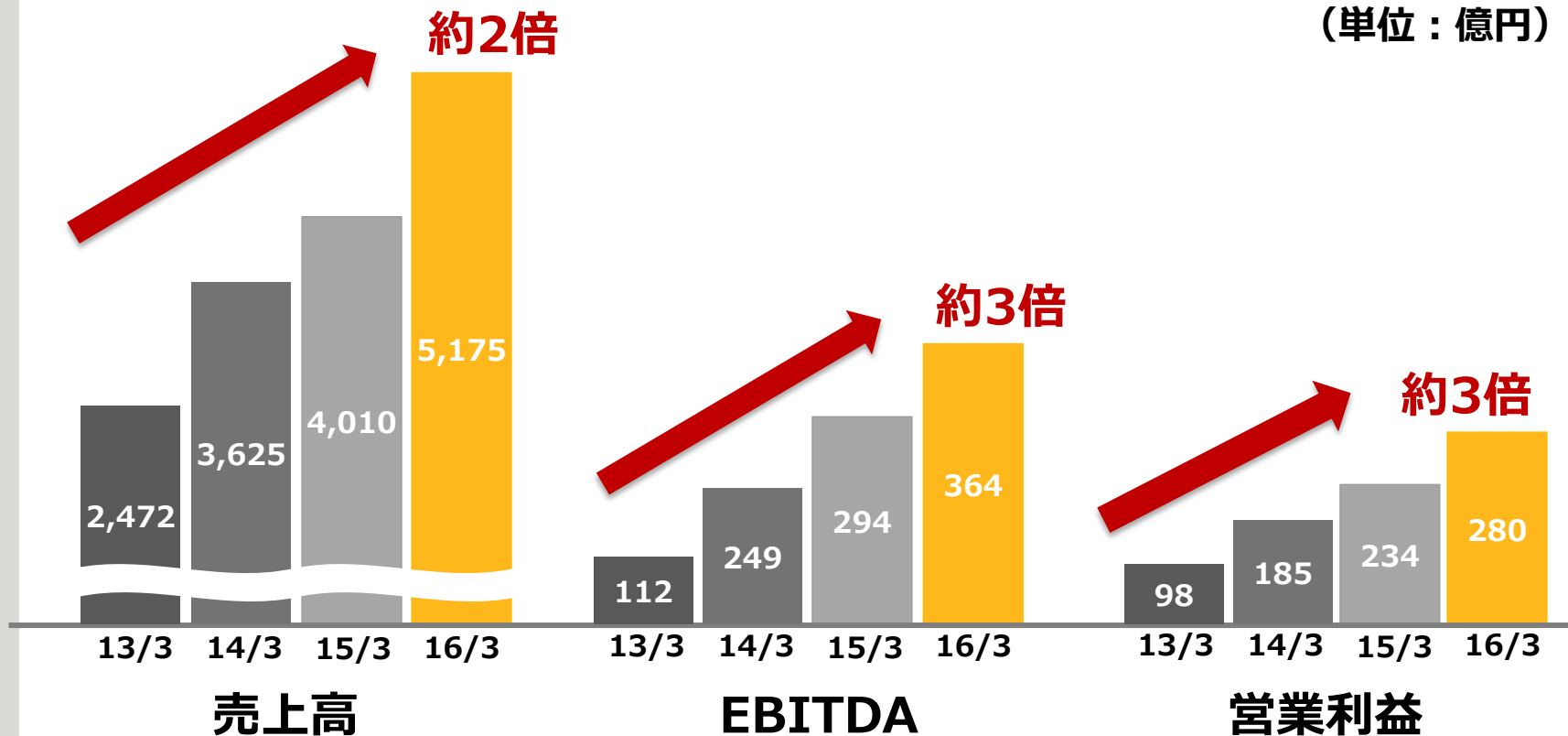
2016/06/30

TEMP HOLDINGS

新ブランド創出の背景

グループ業績推移

(単位：億円)



成長率ランキング

(2016年1月)

日経ビジネス独自算出。金融と不動産を除く国内、欧米主要国の上場企業で時価総額の各上位300社、アジア企業は日本経済新聞社の「Asia300」の対象となる331を母集団とした。2009年度と2014年度の決算を比較。各データは2015年12月10日時点。

順位	国	企業名	業種
1		長城汽車	自動車
2		アレクシオン・ファーマシューティカルズ	バイオテクノロジー
3		バリアント・ファーマシューティカルズ	医薬品
4		プライスライン・グループ	旅客
5		上銀科技（ハイウィーン・テクノロジーズ）	機械部品
6		アップル	通信機器
7		百度（バイドウ）	ネットサービス
8		サン・ファーマシューティカル・インダストリーズ	医薬品
9		MonotaRO	小売業
10		HCLテクノロジーズ	情報技術

順位	国	企業名	業種
11		サウスウエスト航空	空港
12		アボイティス・パワー	電力
13		中国中信集団（CITIC）	複合企業
14		銀河娯楽集団	カジノ
15		珠海格力電器	家電
16		スタートトゥデイ	小売業
17		騰訊（テンセント）	ネットサービス
18		ASML	旅客
19		スターバックス	外食
20		ジョリビー・フーズ	外食

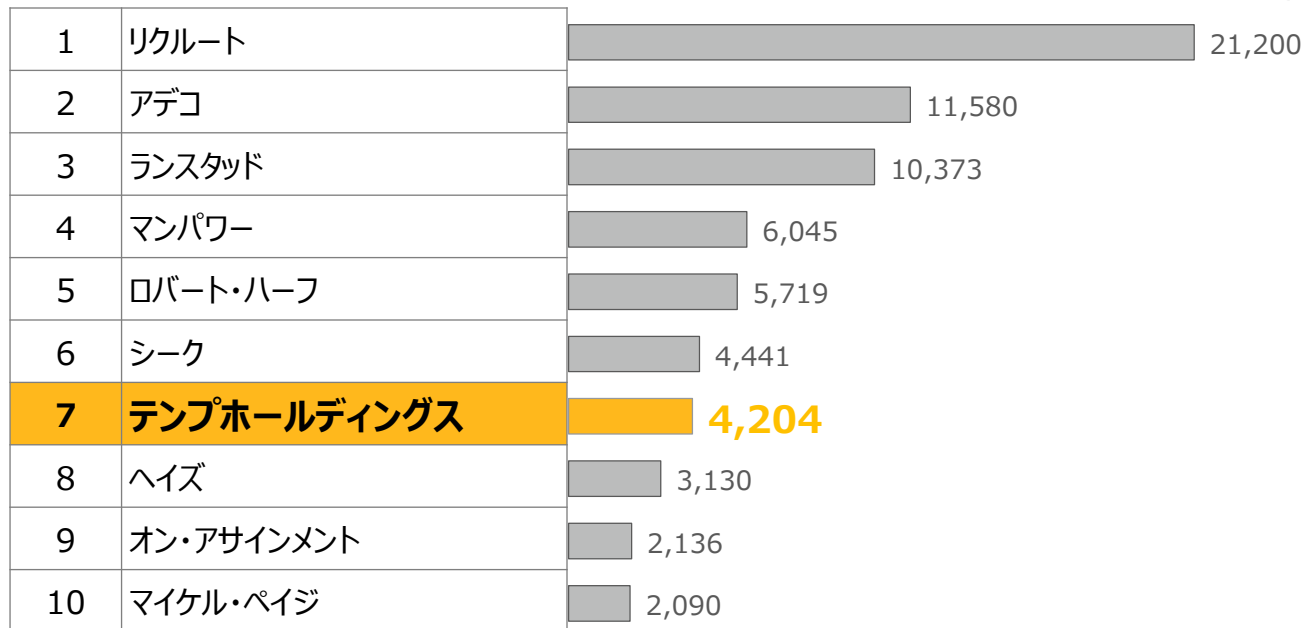
順位	国	企業名	業種
21		ルピン	医薬品
22		スンプル・アルファリア・トリジャヤ	小売り
23		ガンホー・オンライン・エンターテイメント	オンラインゲーム
24		ギリアド・サイエンシズ	バイオテクノロジー
25		カカコム	ネットサービス
26		テンプホールディングス	人材派遣
27		儒鴻企業（エクラット・テキスタイル）	繊維
28		中国中車	鉄道車両
29		美的集団	電機
30		コグニサント・テクノロジー・ソリューションズ	情報技術サービス

出典：日経ビジネス成長率ランキング

世界の人材サービス 時価総額ランキング

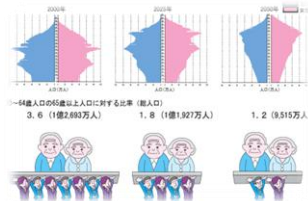
(2016年6月時点)

(億円)



雇用環境の変化

※画像出典：財務省HP



少子高齢化による
労働力人口の減少



規制・法制度の
変化



成熟産業からの
労働移動拡大



テクノロジーの
進化

労働市場のミスマッチ

グループの力を結集して解決する

新グループブランド

新グループブランド名

P E R S O L

新グループブランド名の由来

P E R S O L

“人”の成長を通じて
(PERSON)

社会の課題を“解決”する
(SOLUTION)

人は仕事を通じて成長し、社会の課題を解決していく。
だからこそ、はたらく人の成長を支援し、
輝く未来を目指したいという想いを込めました。



ブランドシンボル(ロゴマーク)



新しいブランドシンボルのモチーフは

PERSOLの「P」。

ファインダーにも見えるこのシンボルは、

働く人ひとりひとりに焦点を当て、

将来を見据えていこうという姿勢を表しています。

ブランドタグライン(スローガン)

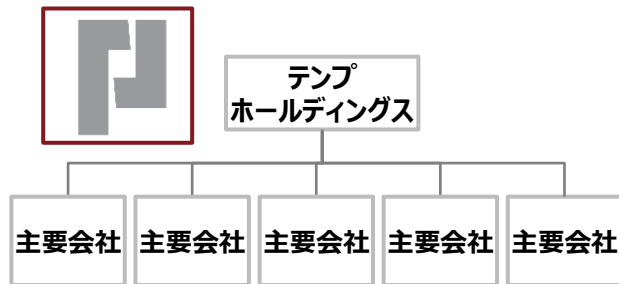
はたらいて、笑おう。

仕事をしていく中で、様々な困難を乗り越えたとき。
そして、その努力が実を結んだとき、人は、また一歩、成長する。
そのときの心からの笑顔を、いくつも生み出したい。
働くことそのものを輝かせ、人生を楽しむことにつなげてゆくために
すべての働く人を支援したいというメッセージ、エールが
この言葉には込められています。

今後のブランド展開

スタート期 2016年7月～

グループブランド



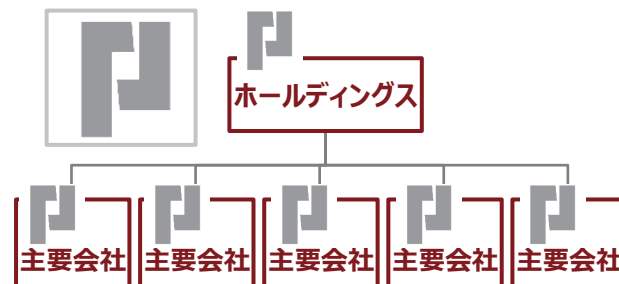
グループブランド名を

「PERSOL(パーソル)」

に変更

2018年4月を目途

グループブランド



ホールディングス・主要会社名に

「PERSOL(パーソル)」

をつける商号変更も視野に検討中

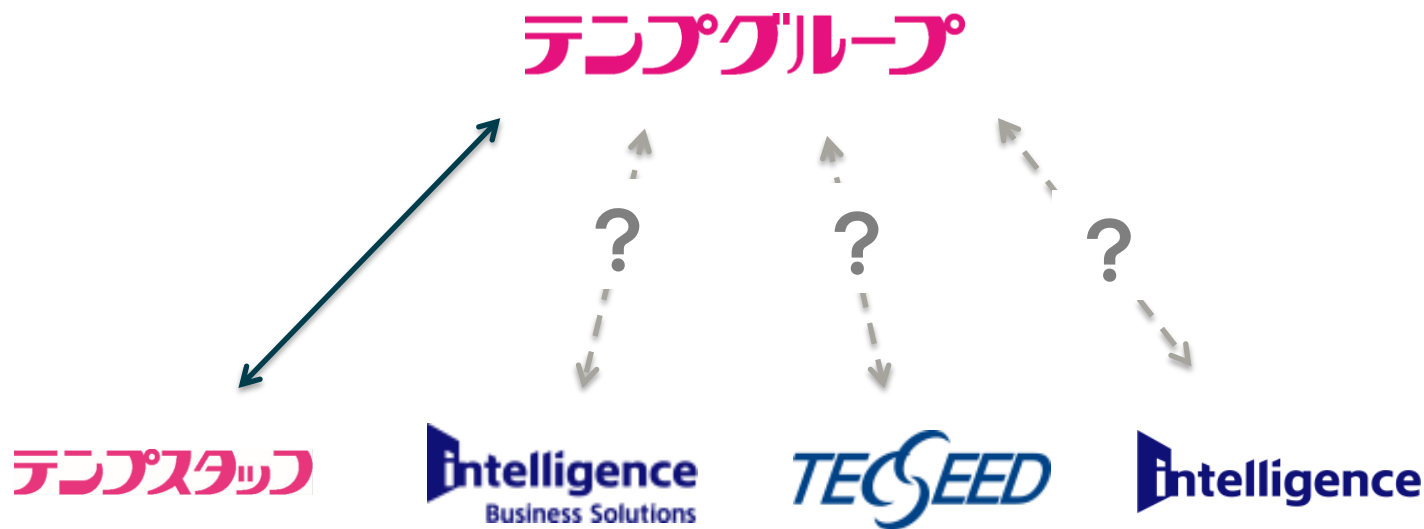
経営体制も変更

監査等委員会設置会社への移行

テンプスタッフ／インテリジェンスの社長交代

ブランド変更の理由

各事業は1つのグループと認識されていない



「テンプ°=派遣」

当グループの
事業実態にあったブランドが必要

**1つのグループとして
個人や法人から認識され、
雇用や労働に関する社会課題に
グループの総合力で向き合う**

グループで実行する3つの注力ポイント

1

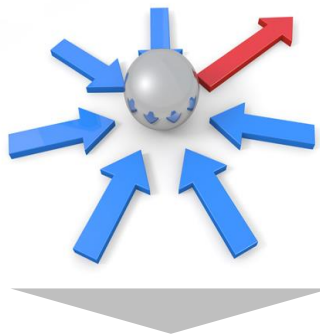
グループとしての
規模の拡大・認知度向上



人と組織、はたらくで
第一想起される状態

2

人と組織における
情報の収集・分析



評価・診断・発信が
出来る状態

3

人と組織における
多様なサービスの提供



人と組織に関する多様な
サービスを提供できる状態

